

憂

田中康夫

今月のゲスト

石見銀山の歴史的価値から、
神戸のクリスマスツリー、
アメリカのセクハラ「ミー・トゥー」、
くすぶり続ける慰安婦問題まで。

JR中央線「西荻窪」駅からほど近く、
島根県の食べものや産物を発信する『Re:endo』で
ランチを食べながら、対談を行った田中・浅田両氏。
島根にちなんだ石見銀山の歴史からアメリカと日本の
セクハラ問題まで、多岐にわたる話題を論じた。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

浅田彰

談 呆 国 憂

season **2** VOLUME 91

神戸のクリスマスツリー、SNSが「鎮魂」を批判!

浅田 今日 JR西荻窪駅近くの『Bendol』で昼食をとりながらの対談。島根県大田市にある『群言堂』の支店的な存在らしいけど、古民家をリノベーションした建物の軒先には大根や柚餅子が干されて風情があるし、昼食もヘルシーでおいしかった。大勢の女性でにぎわっているのも当然。

田中 本店の近くの石見銀山は、2007年に世界遺産に登録された当初は観光客が殺到したけど、駐車場から銀山の坑道跡まで2キロメートル以上も離れているのが高齢者には難儀で、客足が落ちてきているらしい。大森という集落で1989年から営まれている『群言堂』は地道な努力が実を結んで、全国の百貨店にも出店しているけど。

浅田 マルコ・ポーロが『東方見聞録』で「黄金の国ジ・パング」に触れて以来、黄金を求めて大勢のヨーロッパ人が東を目指したけど、来てみたら日本は、実は「銀の国」だった。そう言えるくらい、石見銀山は大きかったんだね。イエズス会士の報告書にも出てくるし、それを受けてヨーロッパで描かれた世界地図にも石見銀山が記されている。結果的に言えば宣教師は植民者と手を携えて世界に旅したわけで、現地の資源にめざとく注目してるんだよ。南蛮風俗の一端としてキリスト教を好んだ織田信長に対して、豊臣秀吉がキリスト教の布教を禁止し、徳川家康がそれを引き継いだのも、世界情勢からみて賢明だったと言えるかもしれない——キリシタンへの残酷な弾圧は行き過ぎだったとしても。キリシタン大名が教会に土地を寄進する例も始始めてたからね。秀吉は気に入った女に片っ端から手を

付けてたのに、キリシタンの女に拒否されて怒ったって俗説もあるけど(笑)。

田中 昔から「事件の陰に女あり」と言われてきたけど、そうした理由で歴史も大きく動くんだね。なあんて軽口を叩いていると、女性蔑視だと怒り出す生真面目な読者がいないとも限らないので、キリスト教つながりで話題を変えようと(苦笑)「めざせ!世界一のクリスマスツリーPROJECT」と銘打って神戸港のメリケンパークに高さ30メートルの生木を「移植」したイベントが大炎上している。

12月26日までの会期だから、この号が発売される1月上旬には無残にも切り落とされて、更に炎上必至だろうけど、「プラント



えたのに対し、「SNS」と呼ばれるインターネットの世界では極めて否定的に捉えられて、しかも単なるデイスリでなく、実に冷静な違和感を吐露するツイートの圧倒的だった。

浅田 それ、単なるビジネスだよな?

田中 そう。今や上場企業の『ほぼ日』代表取締役社長を務める糸井がお得意のビジネス。大きなクリスマスツリーを楽しんでね、とシンプルに宣伝すればノー・プロブレムだったのに、それでは話題を集めないと焦ったのか、79年前に大火が発生した氷見の地で生き残った「奇跡の木」だとフェイクニュースを仕立てたものだから、大反発を食らう羽目に。大火で焼失した中心街

ハンター」を名乗る西島清順が「神戸の復興と再生の象徴にしたい」となぜか富山県氷見市の山中から日本海、瀬戸内海と1100キロも船で運んだ。おまけにモミでなくアスナロの木。で、全面支援したのが糸井重里。『ほぼ日刊イトイ新聞』で神戸への「移植」を詳細に報じ、「ほら、初冬に神戸に〜」見に見に、見に来て〜ね」と、その昔に自分が作詞した「春咲小紅」をもじってツイートする熱の入れよう。

NHKはヘリコプターを飛ばして「おほよう日本」や「あさいち」で生中継し、大阪の毎日放送が制作する「情熱大陸」も放送時間を1時間に倍増して全国放送。「メディア」と呼ばれる媒体が総じて肯定的に伝

の欺瞞と偽善を、「需要側」ダイヤモンドサイド」のアマチュアが鋭く見抜いたんだね。SNSという言葉も使われていなかった1999年に筑紫哲也が「インターネットの書き込みは便所の落書きだ」と述べたけど、今回の一件はSNS上の集合知が精度において既存メディアを超えてしまったエポック・メイキングだと思ふよ。

浅田 世界中から植物を集めて植物園や図鑑をつくるプラント・ハンティング自体、植民地主義と不可分。ちなみに、その現代版がモンサントのようなバイオ企業や製薬企業で、世界中の有用な植物の遺伝子を解析してパテントを取っていくわけ。たとえばインディオの使ってた薬用植物でも、解析した遺伝子データはわが社のものだ、使いたいなら使用料を払え、と。

神戸については、震災後、安藤忠雄が鎮魂のために、木蓮やこぶしといった白い花の咲く木を植える運動をしたし、震災の年の暮れから続くライトアップ・イヴェント「ルミナリエ」も、毎年多くの観客を集めている……。

田中 南イタリアのフイレンツェとも呼ばれる、プリアア州レッツェ近郊の村でルネッサンス時代に始まったとされるルミナリエは、電気の消えた1・17の夜に燃え盛る赤い炎の前で無力だった神戸の人々に平和の光をといてコンセプト。だから感動と共に鎮魂の思いを抱ける。批判に晒された西島は、異人館街からほど近い生田神社にアスナロの木を奉納して鳥居として有効活用

しますと後出しジャンケンして、クリスマスと初詣でのダブルで儲けるのかと更には炎上してしまう。あげ句の果てには「見るのが嫌な人は見なければいい」と新聞のインタヴューで発言。

浅田 自然崇拜に取って代わったキリスト教は自然の破壊と収奪にも加担してきたんで、秀吉的に言えば、キリスト教徒が人口の1パーセントもない日本でクリスマススを祝うこと自体やめたほうがいい。

田中 結婚式は神父が牧師。七五三は神主。葬儀は僧侶。なんでもござれの日本だからね。批判が高まる糸井も「冷笑的な人たちは、たのしそうな人や、元氣な人、希望を持って人を見ると、じぶんの低さのところまで引き降り降ろそうとする。じぶんは、そこまでのぼる方法を持っていないからね」とツイート。『ぼぼ日』のコラムでも「思えば、あら探し」だらけの世の中で、あらを探される側になっているということ

は、ものすごいことだよ、と言えるよ。がんばれ、あら探されてる“やつら”と書いて、香ばしい燃料をサステイナブルに投下し続けた。いやはや。

「これって無慈悲なアフリカのライオン、ハンティングと同じだよ！」と『サンデー毎日』に寄稿した原稿も含めて僕のHPにツリーまとめサイトを設けたので、お暇な方は覗いてみてください(苦笑)。

男であることの恥ずかしさ。米国と日本のセクハラ問題。

浅田 アメリカでハリウッド女優たちが大物プロデューサーだったハーヴィー・ワインスタインからのセクシュアル・ハラスメントを訴え、ワインスタインが映画界から追放されたのをきっかけに、女たちからの「ミー・トゥー(私も)」って告発が燎原の火のように広がってる。これは社会史上の大事件になるだろうね。

フランスの哲学者ジル・ドゥルーズが「男(人間)であることの恥ずかしさ」つ

てことを言ってる。ぼくらは女に対する性的な嫌がらせや暴行をしたことがなく、法的責任はない。しかし、歴史を通じて男が女を差別し性暴力を振るい続けてきた、その恥は感じざるをえない。その意味で、これはすべての男にとっての大問題だと思



うよ。むろん、男に対する性的な嫌がらせや虐待の問題もあるけれど。

田中 ダスティン・ホフマンもセクハラ行為を謝罪し、日本でも人気の『ハウス・オブ・カード 野望の階段』で主役を務めていたケヴィン・スペイシーも未成年男子への行為が明るみに出て、最終シーズンとの触れ込みで撮影中だったシーズン6は即中止に追い込まれた(彼が降板し、大幅に放送回数を縮小して撮影再開)。

田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me

なんだか、日本人のメンタリテイが松岡洋右の国際連盟脱退の時分になってきているように心配だよ。(田中)

欠選挙に共和党から立候補した、同州の最高裁判所長官だったロイ・ムーアの醜聞が発覚。彼が30代の頃にセクハラをした、当時未成年だった複数の女性が名乗り出て、反同性愛・反中絶・ポルノ反対のムーアは主義主張と自分の行為が真逆じゃないかと『ワシントン・ポスト』までが連日大きく報道する騒ぎに。共和党内でも、極右ネットサイト「ブライトバート・ニュース」会長のステイヴン・バノンが擁立した彼を候補から下ろそうとなったのに、トランプはムーア支持のツイートを連投する始末。実は9月の予備選ではトランプは別の候補を支持していたのね。

OXニュースのCEOロジャー・エイルズも女性キャスターにセクハラで訴えられて辞任したあとと亡くなったし、人気キャスターだったビル・オライリーも同様の問題で降板させられた。もちろん、政治にせよメディアや芸能にせよ、民主党サイドでもコメディアンから政治家になったアル・フランケン上院議員のように辞任に追い込まれる例が続出してるってことも言っとかなきゃいけない。そもそもワインスタインもクリントン陣営の大スポンサーだしね。

浅田 そう、これはもはや政治的事件で、その中心にいるのは実はトランプ自身なんだよ。トランプは、大統領選挙のとき公に名乗り出た10人以上の女性たちからセクハラの告発を受けてるし、『アクセス・ハリウッド』ってTV番組に出たときのバスの中の会話で「有名人なら女はやらせてくれる、プッシーをつかむのも簡単だ」とか言ってる声が録音されてる——最近「あれは俺の声かどうか疑わしい」って言い出して(笑)、番組司会者だったビリー・ブッシュ(ブッシュ・ジュニア元大統領の従弟)が、「私も『つられて笑っているのは私じゃない』と言いたいところだが、あれは私だ。自慢げに話しているのが間違いないトランプであるように」と「ニューヨーク・タイムズ」への寄稿で再確認する始末。

田中 その通り。なのに、この問題を新潮社の『週刊新潮』が報じて、記者クラブ加盟の新聞やTVは後追いせず、彼女が文藝春秋から『Back Box』を出版して日本外国特派員協会で見聞行っても、儀礼的報道にとどまった。「保守派」と目されてい

浅田 トランプの宣伝マシンと言うべきF

田中 その通り。なのに、この問題を新潮社の『週刊新潮』が報じて、記者クラブ加盟の新聞やTVは後追いせず、彼女が文藝春秋から『Back Box』を出版して日本外国特派員協会で見聞行っても、儀礼的報道にとどまった。「保守派」と目されてい



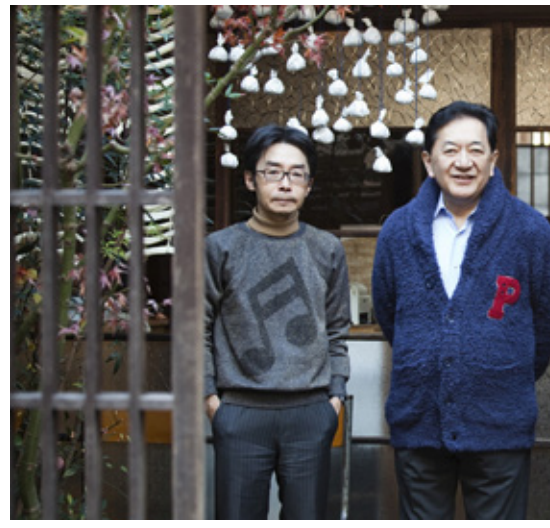
た新潮、文春の両社が問題視して、「リベラル派」を自認していた朝日・毎日が当初、「鈍感力」を發揮していた日本も、この点ではアメリカ同様世も末だね。

慶應義塾大学の広告学研究会の学生6人が葉山の「合宿所」で起こした「集団レイプ事件」を横浜地検が不起訴にしたのもあり得ないでしょ。その理由を地検は明らかにすべきだし、記者クラブも検事に意見を求めるべきでしょ。

浅田 さつき「男であることの恥ずかしさ」ってことを言ったけど、ドウルーズ的に言うと、白人が世界中の有色人種を差別し、時には奴隷化してきたことを思えば「白人であることの恥ずかしさ」ってのもある。同様に、戦後生まれのぼくらには植民地化や戦争の法的責任はないものの、「日本人であることの恥ずかしさ」は感じるよ。ところが、吉村洋文・大阪市長（大阪維新の会）が朝鮮人慰安婦像の寄贈を受け入れたサンフランシスコ市と姉妹都市の関係を解消する、と。そんなの、サンフランシスコ市には何の痛痒もない。こっちから日本の恥を世界にさらしてどうするって話（苦笑）。あえて現実主義的に言っても、できるだけ穏便に済ますほうが得なのに。

田中 韓国系や中国系のロビイストが煽りまくって認めさせた暴挙だとネットウヨ集団は怒ってるけど、実は櫻井よしこを筆頭に自称「愛国者」の嫌韓・嫌中派がアメリカで展開したプロパガンダが逆効果となって慰安婦像の建立へとつながったオウンゴールの側面が大きいと西海岸でも東海岸でも捉えられている。

浅田 たしかに、1965年の日韓基本条約と請求権協定で法的には賠償問題は片付き、日本からの5億ドルの支援で韓国は



全面的監視社会、 総クレームー訴訟社会が、 両義性を孕む 豊かな人間関係を 不可能にしてるんだな。（浅田）

「漢江の奇蹟」と呼ばれる経済発展への道を歩み出した。ただ、その後、文民政権に転じてからの韓国では「あれはパク・チヨンと軍事独裁政権の勝手な妥協に過ぎない」って意識が強い。しかも、さつきから言ってる通り、近年、女性に対する差別や性暴力に対する意識が大きく変わった。だから、法的にケリはついてても、首相があらためて謝罪の手紙を送るとか、民間からの寄付で慰安婦だった女性たちに見舞金を送るとか、日本政府も不十分ながら努力はしてきたわけ。天皇が退位前に韓国訪問を望んでると言われるのも、その文脈では不思議じゃない。それなのに、「韓国側が今さら慰安婦問題を蒸し返すのはけしからん」なんていうヒステリーを起す右翼っぽい……。

田中 竹下登から村山富市まで7人の首相を内閣官房副長官として補佐した旧・自治

浅田 彰
あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力ー記号論を超えて』はベストセラーに。



省出身の石原信雄は、慰安所の設置や運営に当時の軍が関わったのは明らかで、実際に各省の倉庫で資料を集めたら、慰安所の運営、衛生管理、治安の維持を頼むという趣旨の文書が出てきたと述べている。以前にも紹介したけど、「終りなき海軍ー若い世代へ残したい伝えたい」という1978年の書籍の中で中曽根康弘元首相も、『いま明かす戦後秘史』という1983年の対談本で鹿内信隆元フジサンケイグループ会議議長も同様の言及をしている。

「三千人からの大部隊だ。やがて、原住民の女を襲うものやバクチにふけるものも出てきた。そんなかれらのために、私は苦心して、慰安所をつくってやったこともある。かれらは、ちやうど、たらいのなかにひしめくイモであった」。「調弁する女の耐久度とか消耗度、それにどの女がいいとか悪いとか、それから、ムシロをくぐってから出て来るまでの「持ち時間」が、将校は何分、下士官は何分、兵は何分……といったことまで、決めなければならない」と詳細に語っている。

実際問題、オランダの植民地だったインドネシアを占領した日本軍の将校が数十人のオランダ人女性を慰安所に強制連行し、軟禁状態で強姦した件は、国際軍事裁判で日本軍人・軍属に有罪が宣告され、オランダの下院は謝罪と補償を日本政府に求める決議を2007年に改めて採択しているのだから。

ヴェトナム戦争時に派兵された韓国兵士と現地のヴェトナム人女性との間に生まれた「ライダイハン」と呼ばれる子ども問題を追及するネットウヨは、その前に中曽根、鹿内両氏も認める史実を学ばないと。なんだか、日本人のメンタリテイが松岡

洋右の国際連盟脱退の時分になってきているように心配だよ。
浅田 そのことも含め、「男であることの恥ずかしさ」を踏まえて、一連の問題には正面から取り組むほかない。ただ、微妙なところもあってね。

たしかに、「嫌よ嫌よも好きのうち」っていうのは男の勝手な妄想だし、女がその妄想に合わせて演技してくれるような時代は終わった。しかし、たとえばデート・レイプ問題ってのがあって、カップルが喧嘩別れたあとと女が「あのときのデートでも私は嫌だったのに彼が無理やり……」って言い出す場合がある、その中には、男からは明らかに言いがかりと思える例もあるわけ。逆に言えば、弁護士の視点で、そういうリスクを避けようと思えば、デートのたびに「今日はここまで」っていう合意書事前に交わしとくべきだったことになる（苦笑）。それでは恋のかけひきの余地も何もないんで、身も蓋もない話にかならないわけ。

大学でも、学生との1対1の面談の際は、異性・同性を問わず、ドアを開けておき、極端な場合はヴィデオで録画するようになった。でも、それはセクハラを防ぐ以上に、セクハラクレームを防ぐためなんだよ。あるいは、「馬鹿」とか言ってる学生を傷つけるアカデミック・ハラスメントはやめよう。それはいいけど、実はたんなるクレーム対策である場合が多い。そうすると、学生のためを思ってきたことを言うのが難しくなり、当たり障りのない感想しか言えなくなる。それって実は教師の責任放棄なんだよね。全面的監視社会、総クレームー訴訟社会が、両義性を孕む豊かな人間関係を不可能にしてるんだな。